

## 主専攻プログラム詳述書

開設学部（学科）名〔 文学部人文学科 〕

<p>プログラムの名称（和文）</p> <p>（英文）</p>	<p>哲学・思想文化学プログラム</p> <hr/> <p>Philosophy/Thought and Cultural Studies</p>
<p>1. プログラムの紹介と概要</p> <p>哲学・思想文化学プログラムでは、西洋の哲学と哲学史、仏教を含むインドの思想文化、倫理学と倫理学史及び応用倫理学、中国の思想文化について、広く深く学ぶことができる。</p> <p>西洋哲学を中心に研究したい人は、古代から現代に至る哲学の主要問題を体系的かつ文献学的に研究することを通じて、哲学研究に必要な基礎的方法を習得し、現代の諸問題を含めて、物事を深くかつ多面的に考察する能力を養うことができる。</p> <p>インドの思想文化や、仏教を中心に研究したい人は、サンスクリット語を習得した上で、説話・詩・戯曲などの文学作品、ヒンドゥー教・仏教などの宗教・哲学書、土着の文法書など豊かなインドの古典を通して、多様なインド世界について学ぶことができる。さらに、ブッダに始まる仏教思想がスリランカ、東南アジア、チベットにおいてどのように変化し、発展していったかを学ぶこともできる。</p> <p>倫理学を中心に研究したい人は、倫理思想史の研究を通じて世界観、人生観、価値観などを深めながら、生命・環境倫理、情報・教育倫理、競争と共生の社会倫理を中心とした応用倫理学の研究に取り組むことができる。</p> <p>中国の思想文化を中心に研究したい人は、文献資料を丹念に読解することを中心に、諸子百家の論や儒教、道教、朱子学、陽明学など、三千年以上にわたるその長い歴史に培われてきた思想文化の内容と特色について深く研究し、現代社会に対するその文化の意義について考えていくことができる。</p> <p>このプログラムでは、古今東西の哲学・思想文化を理解し思索する語学力を習得し、古今の哲学・思想文化文献の精密な読解とみずからの思索を通して論理的思考力と感性を養い、個性豊かな人間性をもつ人材を育成する。身につけた多様な知識を活用すれば、社会の幅広い分野で活躍することが可能であり、また大学院に進学して、より深く専門性を追究することもできる。</p>	
<p>2. プログラムの開始時期とプログラム選択のための既修得要件（履修科目名及び単位数等）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム開始（選択）時期は、2年次である。</li> <li>・プログラムへの登録は、学生の志望を尊重しつつ、入学後の履修状況を参考にして、第1年次末に行う。</li> <li>・受入上限数を設ける。その配属方法は次のように行う。</li> <li>・プログラム内の分野選択については、事前に届け出た志望による。</li> <li>・文学部提供のプログラムへの登録方法と審査は、次の通りである。</li> </ul> <p>[方法] 1 第1年次前期末に予備調査を行い、その結果を集計し、プログラムごとの第一志望者数を、後期授業開始第1週に発表する。</p> <p>2 第1年次末にプログラム志望届と具体的志望理由書を提出させ、その結果を集計し、プログラムごとの第一志望者数を公表する。</p> <p>3 前記第一志望者数の公表後、2月末日まで、志望プログラムの変更届を受け付ける。</p>	

4 プログラム決定の公表は、第2年次生対象のガイダンスまでに、掲示により行う。

[審査] 審査の方法は原則として次による。

(1) 志望者が受け入れ可能数内の場合

学生の志望どおり受け入れる。

(2) 第一志望者が受け入れ可能数を超えた場合

成績換算による上位者から受け入れ可能数までを受け入れる。

受け入れられなかった学生は第二志望で受け入れる。

### 3. プログラムの到達目標と成果

#### (1) プログラムの到達目標

1) 哲学・思想文化学に対する幅広い基礎学力と専門知識を習得する。

・専門基礎科目24単位を履修することによって修得する。

2) 西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学、中国思想文化学のそれぞれの専門分野に関する伝統的研究の成果と方法論を習得する。

・専門科目（専門概説・専門演習）42単位を履修することによって修得する。

3) 各専門領域における基礎的研究を深化させるとともに、現代社会に対する鋭い問題意識を持って、新たな研究領域や学際領域も積極的に開拓する。

・卒業論文科目12単位によって達成する。

#### (2) プログラムによる学習の成果（具体的に身につく知識・技能・態度）

西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学、中国思想文化学の4分野にわたる哲学・思想文化学について、あるいは所属する分野ごとの専門科目について、次のような学習の成果が得られる。

##### ○知識・理解

1) 哲学・思想文化学に関する基本的理解。

2) 西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学または中国思想文化学に関する基礎的知識の習得。

##### ○知的能力・技能

1) 哲学・思想文化学に関する原典の読解力を習得。

2) 哲学・思想文化学に関する資料調査能力を習得。

3) 哲学・思想文化学に関する研究の方法を習得。

4) 西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学または中国思想文化学に関する諸問題を論理的に分析し考察する能力を習得。

##### ○実践的能力・技能

1) 哲学・思想文化学各分野に関する各言語の理解と表現力および日本語表現力を習得。

2) 論理的思考力を身につけて、自分の意見を発表できる論文作成能力・プレゼンテーション能力を習得。

3) 従来研究成果を踏まえて、独創性を発揮できる力を習得。

##### ○総合的能力・技能

1) 哲学・思想文化の特質、人間存在の諸問題を複眼的に考察する力を習得。

2) 自ら課題を設定し、問題を解決する能力を習得。

本プログラムにおける教養教育は、専門領域における研究を行うために必要な基礎学力を身につけるとともに、さまざまな分野の研究の方法・成果・課題を学習して、専門研究に活用できる独創的な視点を養う。哲学・思想文化学各分野を志望する者は、原典読解に必要な各外国語、古典語などの基礎学力を習得する。

#### 4. 教育内容・構造と実施体制

##### (1) 学位の概要 (学位の種類, 必要な単位数)

本プログラムが提供する学位は、学士(文学)である。その取得には、本プログラムで実施される授業科目を選択履修することによって修得する124単位(教養教育科目46単位・専門基礎科目24単位・専門科目42単位・卒業論文科目12単位)を条件としている。

##### (2) 得られる資格等

教育職員免許法に定められている所定の単位を修得することにより、中学校教諭(国語・英語・社会)一種免許状、高等学校教諭(国語・英語・地歴・公民)一種免許状を取得できる。また、博物館法に規定された所定の単位を修得することにより、学芸員資格も取得可能である。

##### (3) プログラムの構造

- ・ [第1ステップ] 1年次に教養教育科目を履修する。プログラムを選択するために専門基礎科目の入門科目(本プログラムでは西洋哲学入門、インド哲学・仏教学入門、倫理学入門、中国思想文化学入門)を履修する。
- ・ [第2ステップ] 2年次に教養教育科目と専門基礎科目及び専門科目の一部を履修する。
- ・ [第3ステップ] 3年次に専門科目を履修する。
- ・ [第4ステップ] 4年次に専門科目を履修しつつ卒業論文指導を受けて卒業論文を完成させる。

※ 別紙2参照

##### (4) 卒業論文(卒業研究) (位置付け, 配属方法・時期等)

###### ○位置付け、目的

卒業論文は、本プログラムの到達点と位置付け、卒業論文指導4単位、卒業論文8単位を必修とする。本プログラムでの学習成果を集大成し、自己の学習の到達水準を見極め、卒業後の更なる発展を促すことを目的とする。

###### ○概要

西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学、中国思想文化学の中から1分野を選択し、卒業論文指導教員の指導を受け、各自が設定した研究テーマに沿って作成を進め、4年次10月末に題目を、1月末に論文を提出する。

###### ○配属時期と配属方法

4年次前期に、自らの希望する分野に従って、卒業論文指導教員を決める。

#### 5. 授業科目及び授業内容

※ 別紙3参照

## 6. 教育・学習

### (1) 教育方法・学習方法

専門基礎科目や専門科目の履修によって、西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学、中国思想文化学それぞれの専門分野に対する基本知識を修得し、少人数教育の演習・卒業論文指導を通して、原典読解力と資料調査能力、及び論文作成能力を向上させ、卒業論文に結実させる。

### (2) 学習支援体制（簡潔に箇条書きにしてください）

#### ○教員による支援

- 1) チューター制度：1年次は教養ゼミ担当教員が、2～3年次はプログラム教員の学年担当チューターが、4年次は卒業論文指導教員が指導する。
- 2) プログラム教員会：2～4年次は、哲学・思想文化学プログラム教員会が学習支援を行う。
- 3) プログラム支援室：西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学、中国思想文化学の各研究室を学習支援室とする。
- 4) プログラム図書室：西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学、中国思想文化学の各研究室を図書室とする。

## 7. 評価（試験・成績評価）

### (1) 到達度チェックの仕組み（科目群としての到達度チェックの仕組み、GPAや学年末総合試験等）

- 1) 授業科目ごとの成績は、秀・優・良・可・不可・欠席で判定する。
- 2) 授業科目ごとの成績は、所定の計算法により、GPAとして累積する。
- 3) 学年ごとに、GPAを算出して、個人の成績レベルが確認できるようにする。
- 4) 各学年で、評価項目ごとに、到達度を示し、達成水準を明示する。

### (2) 成績が示す意味

※ 別紙4参照

## 8. プログラムの責任体制と評価

### (1) PDCA責任体制（計画(plan)・実施(do)・評価(check)・改善(action)）

本プログラムの計画・実施・評価検討・対処は、哲学・思想文化学プログラム教員会が責任を持って行う。プログラム外からの評価検討・対処は、文学部教授会が行う。

### (2) プログラムの評価

#### ・プログラム評価の観点

本プログラムでは、教育的効果を評価の観点とする。

#### ・評価の実施方法（授業評価との関連も記載）

2～4年次の授業科目ごとのGPA、卒業論文などの学生の学習効果をもとに判定する。

#### ・学生へのフィードバックの考え方とその方法

評価結果をもとに、プログラム内容の改善を行う。

## プログラムの教育・学習方法

## ○ 知識・理解

<p><b>身につく知識・技能・態度等</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 哲学・思想文化学に関する基本的理解。</li> <li>2) 西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学または中国思想文化学に関する基礎的知識の習得。</li> </ol>	<p><b>教育・学習の方法</b></p> <p>西洋の哲学と哲学史、仏教を含むインドの思想文化、倫理学と倫理学史、中国の思想文化に関する基本的な知識・理解（1～2）は、本プログラムの専門基礎科目、専門科目の講義・演習における自己学習、課題発表、レポート作成などを通して獲得できるようにする。</p> <p><b>評価</b></p> <p>知識・理解（1～2）は、各授業科目で行う試験、課題発表、レポートなどを通して評価する。</p>
---	---

## ○ 知的能力・技能

<p><b>身につく知識・技能・態度等</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 哲学・思想文化学に関する原典の読解力を習得。</li> <li>2) 哲学・思想文化学に関する資料調査能力を習得。</li> <li>3) 哲学・思想文化学に関する研究の方法を習得。</li> <li>4) 西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学または中国思想文化学に関する諸問題を論理的に分析し考察する能力を習得。</li> </ol>	<p><b>教育・学習の方法</b></p> <p>西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学、中国思想文化学に関する知的能力・技能（1～4）は、本プログラムの専門科目の講義・演習における自己学習、課題発表、レポート作成などを通して獲得できるようにする。特に、少人数教育の演習・卒業論文指導によって、原典読解力、資料調査能力を深化させる。</p> <p><b>評価</b></p> <p>知的能力・技能（1～4）は、演習科目における試験、課題発表、レポートなどを通して評価する。</p>
--	--

○ 実践的能力・技能

身につく知識・技能・態度等
1) 哲学・思想文化各分野に関する各言語の理解と表現力および日本語表現力を習得。 2) 論理的思考力を身につけて、自分の意見を発表できる論文作成能力・プレゼンテーション能力を習得。 3) 従来研究成果を踏まえて、独創性を発揮できる力を習得。

教育・学習の方法
西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学、中国思想文化に関する実践的能力・技能（1～3）は、本プログラムの専門科目の演習における自己学習、課題発表、レポート作成などを通して論文作成能力を習得することによって獲得できるようにする。特に、卒業論文指導においては、論理的思考力を鍛錬し、自分の意見を発表できるようにする。
<b>評価</b>
実践的能力・技能（1～3）は、演習科目における試験、課題発表、レポートなどを通して評価する。卒業論文の作成過程は、これらの能力がどの程度習得できているかを確認する場となる。

○ 総合的能力・技能

身につく知識・技能・態度等
1) 哲学・思想文化の特質、人間存在の諸問題を複眼的に考察する力を習得。 2) 自ら課題を設定し、問題を解決する能力を習得。

教育・学習の方法
総合的能力・技能（1～2）は、本プログラム全体を通して発達させる。教養教育科目・専門基礎科目・専門科目・自由選択科目を通して習得した知識・能力を、卒業論文作成によって集大成できるようにする。哲学・思想文化の研究に必要な総合的能力は、大学生活全体を通して養われるものであり、自主的な学習や課外活動などを通して個性豊かな人間性を身につけることが重要である。
<b>評価</b>
総合的能力・技能（1～2）は、本プログラム全体の学習過程を総合的に判断して評価する。特に、卒業論文は、課題設定能力・問題解決能力の習得程度、独創性の発揮を確認する場となる。

主専攻プログラム モデル体系図

(専門教育における) 学習の成果	教養教育 到達目標	1年		2年		3年		4年		
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
・哲学・思想文化学に関する基本的理解。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な方法で資料を収集できる。</li> <li>・特定の事象から課題を発見し、説明できる。</li> <li>・論拠を明らかにした議論や効果的なプレゼンテーションを行うことができる。(教1, 2, 3)</li> </ul>	教養ゼミ(◎)	西洋哲学入門(○)							
			インド哲学・仏教学入門(○)							
倫理学入門(○)										
中国思想文化学入門(○)										
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多角的な視点から平和について考え、自分の意見を述べることができる。</li> <li>・理念と現実の葛藤を含め、平和を妨げる種々の要因とそこでの複雑な様相について理解し、説明できる。(平1, 2)</li> <li>・人類や社会が抱える歴史的・現代的課題(社会のしくみと科学の在り方、知の営みの意味、いのちの重み、多様な文化間の交流や対立、自然と共生する意義など)について、多角的な視点から説明できる。(バ)</li> <li>・各学問領域について、その形成過程・発展過程を説明できる。</li> <li>・各学問領域が文化・社会とどのように関わっているのかについて、説明できる。(領1, 2)。</li> </ul>	平和科目(○)								
		パッケージ別科目								
		領域科目(○)								
				哲学概論Ⅰ(○)	哲学概論Ⅱ(○)					
				西洋古代哲学史(○)	西洋古代中世哲学研究(○)					
				西洋中世哲学史(○)						
				西洋近世哲学史(○)						
				西洋近現代哲学研究A(○)		西洋近現代哲学研究B(○)				
				論理学(○)	科学哲学・科学思想史(○)					
				インド哲学概説(○)	仏教学概説(○)					
				倫理思想史概説(○)	倫理思想史特講(○)					
				倫理学概論(○)	倫理学特講(○)					
				生命倫理(○)						
				中国思想史概説(○)	中国文化学概説(○)	中国学術思想史(○)				
		諸子学文献A(○)	諸子学文献B(○)							

(専門教育における) 学習の成果	教養教育到達目標	1年		2年		3年		4年			
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期		
知的能力・技能	<p>・外国語を活用して、口頭や文書で日常的なコミュニケーションを図ることができる。</p> <p>・複数の外国語を活用することで、多くの言語や文化を理解できる。(外1, 2)</p> <p>・情報を活用するためのモラルと社会的課題について理解し、説明できる。</p> <p>・情報に関する基礎的知識・技術・態度を学び、情報の処理や受発信を適切に行うことができる。(情1, 2)</p> <p>・体力・健康づくりの必要性を科学的に説明できる。</p> <p>・スポーツの実践を通じて、生涯にわたってスポーツを楽しむ意義や、マナー・協調性などの重要性を理解し、説明できる。(健1, 2)</p>	コミュニケーション I A (○)	コミュニケーション II A (○)	コミュニケーション III (△)	コミュニケーション III (△)						
		コミュニケーション I B (○)	コミュニケーション II B (○)								
		ベーシック外国語 I (○)	ベーシック外国語 II (○)								
		インテンシブ外国語 I (△)	インテンシブ外国語 II (△)								
		情報活用演習(◎)									
		健康スポーツ科学(○)									
		スポーツ実習A(○)									
				哲学史基礎演習(ギリシア語)(○)							
				哲学史基礎演習(ラテン語)(○)							
				哲学史基礎演習(ドイツ語)(○)	古代哲学史基礎演習(○)						
				近世哲学史基礎演習(○)	中世哲学史基礎演習(○)						
				サンスクリット語入門(○)	サンスクリット語基礎演習(○)	インド哲学・仏教学演習A(○)	インド哲学・仏教学演習B(○)	インド哲学・仏教学演習C(○)	インド哲学・仏教学演習D(○)		
				インド哲学・仏教学基礎演習A(○)	インド哲学・仏教学基礎演習B(○)	インド思想基礎文献演習A(○)	インド思想基礎文献演習B(○)				
						仏教思想基礎文献演習A(○)	仏教思想基礎文献演習B(○)				
		倫理思想史基礎演習A(○)	倫理思想史基礎演習B(○)	倫理思想史基礎演習C(○)	倫理思想史基礎演習D(○)						
		漢文基礎(○)	原典読解法(○)	中国古代中世思想文献演習A(○)	中国古代中世思想文献演習B(○)	中国古代中世思想文献演習C(○)	中国古代中世思想文献演習D(○)	中国古代中世思想文献演習C(○)	中国古代中世思想文献演習D(○)		
				中国近世思想文献演習A(○)	中国近世思想文献演習B(○)	中国近世思想文献演習C(○)	中国近世思想文献演習D(○)	中国近世思想文献演習C(○)	中国近世思想文献演習D(○)		
				中国哲学思想文献演習A(○)	中国哲学思想文献演習B(○)	中国哲学思想文献演習C(○)	中国哲学思想文献演習D(○)	中国哲学思想文献演習C(○)	中国哲学思想文献演習D(○)		
				西洋古代中世哲学演習 I (○)	西洋古代中世哲学演習 II (○)						
				西洋近世哲学演習A(○)	西洋近世哲学演習B(○)	西洋近世哲学演習C(○)	西洋近世哲学演習D(○)				
				西洋近現代哲学演習A(○)	西洋近現代哲学演習B(○)						
					インド哲学・仏教学演習A(○)	インド哲学・仏教学演習B(○)	インド哲学・仏教学演習C(○)	インド哲学・仏教学演習D(○)			
				倫理思想史基礎演習A(○)	倫理思想史基礎演習B(○)	倫理思想史基礎演習C(○)	倫理思想史基礎演習D(○)				
					応用倫理学演習A(○)	応用倫理学演習B(○)	応用倫理学演習C(○)	応用倫理学演習D(○)			
					原典読解法(○)	中国古代中世思想文献演習A(○)	中国古代中世思想文献演習B(○)	中国古代中世思想文献演習C(○)	中国古代中世思想文献演習D(○)		
				諸子学文献A(○)	諸子学文献B(○)	中国近世思想文献演習A(○)	中国近世思想文献演習B(○)	中国近世思想文献演習C(○)	中国近世思想文献演習D(○)		
					中国哲学思想文献演習A(○)	中国哲学思想文献演習B(○)	中国哲学思想文献演習C(○)	中国哲学思想文献演習D(○)			



	教養教育到達目標	1年		2年		3年		4年	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
知的能力・技能 ・哲学・思想文化学に関する研究の方法を習得。	/					西洋哲学特別演習A (○)	西洋哲学特別演習B (○)		
						西洋近現代哲学特別演習A(○)	西洋近現代哲学特別演習B(○)		
						インド哲学・仏教学特別演習A(○)	インド哲学・仏教学特別演習B(○)		
						応用倫理学演習A (○)	応用倫理学演習B (○)	応用倫理学演習C (○)	応用倫理学演習D (○)
						倫理学特別演習A (○)	倫理学特別演習B (○)	倫理学特別演習C (○)	倫理学特別演習D (○)
						中国思想文化学特別演習A(○)	中国思想文化学特別演習B(○)	中国思想文化学特別演習C(○)	中国思想文化学特別演習D(○)
								西洋哲学特別演習C (○)	西洋哲学特別演習D (○)
								西洋近現代哲学特別演習C(○)	西洋近現代哲学特別演習D(○)
実践的能力・技能 ・西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学または中国思想文化学に関する諸問題を論理的に分析し考察する能力を習得。	/					インド思想文献演習A (○)	インド思想文献演習B (○)	インド思想文献演習C (○)	インド思想文献演習D (○)
						仏教思想文献演習A (○)	仏教思想文献演習B (○)	仏教思想文献演習C (○)	仏教思想文献演習D (○)
								インド哲学・仏教学特別演習C(○)	インド哲学・仏教学特別演習D(○)
						倫理学特別演習A (○)	倫理学特別演習B (○)	倫理学特別演習C (○)	倫理学特別演習D (○)
						中国思想文化学特別演習A(○)	中国思想文化学特別演習B(○)	中国思想文化学特別演習C(○)	中国思想文化学特別演習D(○)
								卒業論文指導A(◎)	卒業論文指導B(◎)
								卒業論文指導A(◎)	卒業論文指導B(◎)
								卒業論文指導A(◎)	卒業論文指導B(◎)
総合的能力・技能 ・哲学・思想文化の特質、人間存在の諸問題を複眼的に考察する力を習得。 ・自ら課題を設定し、問題を解決する能力を習得。	/							卒業論文(◎)	
								卒業論文(◎)	

(例) 教養科目 専門基礎 専門科目 卒業論文 (◎)必修科目 (○)選択必修科目 (△)選択科目

# 哲学・思想文化学プログラム履修ステップ

文学部人文学科入学

## 第1ステップ

プログラム選択準備

専門基礎 24単位選択必修

○入門科目(プログラム選択の参考)  
2単位選択必修

西洋哲学入門 インド哲学・仏教学入門 倫理学入門 中国思想文化学入門

## 第2ステップ

プログラム選択(プログラム内の志望分野選択)

専門科目

42単位選択必修

専門概説

専門演習

○概説・研究法科目

[西洋哲学分野]

西洋古代哲学史  
西洋中世哲学史

哲学概論 など  
生命倫理 など

[インド哲学・仏教学]

インド哲学概説  
仏教学概説

[倫理学分野]

倫理思想史概説  
倫理思想史特講

倫理学概論

[中国思想文化学]

中国思想史概説  
中国文化学概説  
中国學術思想史

○基礎演習科目

[西洋哲学分野]

古代哲学史基礎演習  
中世哲学史基礎演習

近世哲学基礎演習

[インド哲学・仏教学]

サンスクリット語基礎演習  
インド哲学・仏教学基礎演習

[倫理学分野]

倫理思想史基礎演習

[中国思想文化学]

原典読解法  
諸子学文献

○発展演習科目

[西洋哲学分野]

西洋古代中世哲学演習  
西洋近世哲学演習  
西洋近現代哲学演習

[倫理学分野]

応用倫理学演習

[インド哲学・仏教学]

インド哲学・仏教学演習  
インド思想基礎文献演習  
インド思想文献演習  
仏教思想文献演習 など

[中国思想文化学]

中国古代中世思想文献演習  
中国近世思想文献演習  
中国哲学思想文献演習

○特別演習科目

[西洋哲学分野]

西洋哲学特別演習  
西洋近現代哲学特別演習

[倫理学分野]

倫理学特別演習

[インド哲学・仏教学]

インド哲学・仏教学特別演習

[中国思想文化学]

中国思想文化学特別演習

## 第3ステップ

## 第4ステップ

卒業論文指導 4単位必修

論文作成のための個別指導

卒業論文作成 8単位必修

卒業論文口頭試問合格

哲学・思想文化学プログラム修了 124単位修得

文学部人文学科卒業

教養教育

46単位

○自由選択科目  
18単位選択必修

○英語  
○人文学概説  
○哲学史基礎演習(ギリシア語)  
○哲学史基礎演習(ラテン語)  
○哲学史基礎演習(ドイツ語)  
○サンスクリット語入門  
○漢文基礎  
4単位選択必修

別表（細則第4条第3項関係）

## 文学部教育課程

卒業要件単位数 124単位（教養教育科目46単位，専門教育科目78単位）

教養教育科目

全プログラム

区分	科目区分		要修得単位数	授業科目	単位数	履修指定	履修セメスター (注1)						
							1年次		2年次				
							1セメ	2セメ	3セメ	4セメ			
教養 コア 科目	教養ゼミ		2	教養ゼミ	2	必修	○						
	平和科目		2		2	選択必修	○	○					
	パッケージ別科目		6	選択したパッケージから	2	選択必修	○	○					
教養教育	共通科目	外国語科目	英語を主として履修するもの (注4)	コミュニケーション基礎 (注2)	コミュニケーション基礎Ⅰ	1	自由選択	○					
					コミュニケーション基礎Ⅱ	1			○				
				英語	コミュニケーションⅠ (注3)	コミュニケーションⅠA	1	選択必修	○				
						コミュニケーションⅠB	1		○				
					コミュニケーションⅡ (注3)	コミュニケーションⅡA	1			○			
						コミュニケーションⅡB	1			○			
				上記4科目のうちから2科目以上(注3)									
				コミュニケーションⅢ	コミュニケーションⅢA	1	選択必修				○	○	
					コミュニケーションⅢB	1							
				コミュニケーションⅢC	1								
				上記3科目から2科目									
				初修外国語 (ドイツ語，フランス語，スペイン語，ロシア語，中国語，韓国語，アラビア語のうちから1言語選択)		4	ベーシック外国語Ⅰから2科目	1	選択必修	○			
							ベーシック外国語Ⅱから2科目				○		
				初修外国語 (ドイツ語，フランス語，スペイン語，中国語，韓国語のうちから1言語選択)		6	ベーシック外国語Ⅰから2科目	1	選択必修	○			
							ベーシック外国語Ⅱから2科目				○		
領域科目内のインテンシブ外国語Ⅰ・Ⅱから2科目(注5)						○	○						
英語	コミュニケーション基礎 (注2)	コミュニケーション基礎Ⅰ	1	自由選択	○								
		コミュニケーション基礎Ⅱ	1			○							
	コミュニケーションⅠ (注3)	コミュニケーションⅠA	1	選択必修	○								
		コミュニケーションⅠB	1		○								
	コミュニケーションⅡ (注3)	コミュニケーションⅡA	1			○							
コミュニケーションⅡB		1			○								
上記4科目のうちから2科目以上(注3)													
コミュニケーションⅢ (注5)	コミュニケーションⅢA	1	自由選択				○	○					
	コミュニケーションⅢB	1											
	コミュニケーションⅢC	1											
情報科目		2	情報活用演習	2	必修	○							
領域科目		22	(注6)	1又は2	選択必修	○	○	○	○				
健康スポーツ科目		2		1又は2	選択必修	○	○	○	○				
基盤科目		(0)	(注2)	1～3	自由選択	○	○	○	○				
計			46										

※ 外国語科目の選択において，いずれの言語を主とするかは学生の意思に委ねる。

注1：○印は標準履修セメスターを表している。なお，当該セメスターで単位を修得できなかった場合はこれ以降に履修することも可能である。授業科目により実際に開講するセメスターが異なる場合があるので，毎年度発行する教養教育科目授業時間割等で確認すること。

英語の履修については，上記の他，外国語技能検定試験による単位認定制度もある。詳細は，「外国語技能検定試験等による単位認定の取り扱いについて」(p. 教養42～43)を参照すること。

注2：コミュニケーション基礎，基盤科目を履修した場合は，領域科目を履修したものとみなす。

注3：時間割編成の都合上，1セメスターは「コミュニケーションⅠA」及び「コミュニケーションⅠB」，2セメスターは「コミュニケーションⅡA」及び「コミュニケーションⅡB」が指定されている。

注4：英語を主として履修するもので，初修外国語をさらに深く学びたいものは，領域科目の中のインテンシブ・ドイツ語，インテンシブ・フランス語，インテンシブ・スペイン語，インテンシブ中国語，インテンシブ韓国語を選択履修すること。

注5：英語以外を主として履修するものが，コミュニケーションⅢを履修した場合，領域科目として履修したものとみなす。また，インテンシブ外国語を4単位履修した場合，2単位は初修外国語に，2単位は領域科目にカウントする。

注6：教育職員免許状を取得する場合は，領域科目内の「日本国憲法」2単位を修得すること。(p. 専門49参照)

## 専門教育科目

## 哲学・思想文化学プログラム

区分	授業科目	開設期	単位	履修区分	備 考
専門基礎科目 24単位	入門科目 (16分野の入門科目の中から)	2	2	選択必修	超過分の単位は、4単位まで自由選択科目の単位とすることができる。
	英語	3・4	4	選択必修	文学部提供教育プログラム共通科目群のもの。  各人の志望する分野に合わせて選択履修することが望ましい。
	人文学概説				
	哲学史基礎演習（ギリシア語）				
	哲学史基礎演習（ラテン語）				
	哲学史基礎演習（ドイツ語）				
	サンスクリット語入門				
	漢文基礎	1-8	18	選択必修	文学部・他学部の専門教育科目及びセンター等開設科目から選択すること。（注）
自由選択科目					
専門科目 42単位	専門概説 [西洋哲学分野] [インド哲学・仏教学分野] [倫理学分野] [中国思想文化学分野] の概説・研究法	3-6	42	選択必修	各人の志望する分野の専門科目を26単位以上履修すること。
	専門演習 [西洋哲学分野] [インド哲学・仏教学分野] [倫理学分野] [中国思想文化学分野] の基礎演習，発展演習，特別演習の科目	3-8			
卒業論文科目 12単位	卒業論文指導A，B	7・8	4	必修	
	卒業論文	8	8	必修	
合計			78		

(注) 教育学部等で開設する教職に関する専門科目は、自由選択科目に算入できる。

## 専門教育科目

分野	区	分	科目コード	授業科目	学期単位	開設単位	配当年次	授業形態	
西洋哲学	専門基礎科目	入門科目	BA0010	西洋哲学入門	2	2	1	講義	
		基礎科目	BA0020	哲学史基礎演習(ギリシア語)	2	2	2	演習	
			BA0030	哲学史基礎演習(ラテン語)	2	2	2	演習	
			BC0020	哲学史基礎演習(ドイツ語)	2	2	2	演習	
	専門科目	専門概説	概説・研究法	BA2000	西洋古代哲学史	2	2	2	講義
				BA2010	西洋中世哲学史	2	2	2	講義
				BA2020	西洋近世哲学史	2	2	2	講義
				BA2030	哲学概論 I	2	2	2	講義
				BA2040	哲学概論II	2	2	2	講義
				BA2051	西洋古代中世哲学研究	2	2	2	講義
				BA2070	西洋近現代哲学研究A	2	2	2	講義
				BA2080	西洋近現代哲学研究B	2	2	3	講義
				BA2090	論理学	2	2	2	講義
				BA2100	科学哲学・科学思想史	2	2	2	講義
		専門演習	基礎演習	BA4000	古代哲学史基礎演習	2	2	2	演習
				BA4010	中世哲学史基礎演習	2	2	2	演習
				BA4020	近世哲学基礎演習	2	2	2	演習
			発展演習	BA5001	西洋古代中世哲学演習 I	2	2	3	演習
				BA5011	西洋古代中世哲学演習II	2	2	3	演習
				BA5040	西洋近世哲学演習 A	2	2	2	演習
				BA5050	西洋近世哲学演習 B	2	2	3	演習
				BA5060	西洋近世哲学演習 C	2	2	3	演習
				BA5070	西洋近世哲学演習 D	2	2	4	演習
				BA5080	西洋近現代哲学演習 A	2	2	2	演習
	BA5090	西洋近現代哲学演習 B	2	2	3	演習			
	特別演習	BA6000	西洋哲学特別演習 A	2	2	3	演習		
		BA6010	西洋哲学特別演習 B	2	2	3	演習		
		BA6020	西洋哲学特別演習 C	2	2	4	演習		
		BA6030	西洋哲学特別演習 D	2	2	4	演習		
		BA6040	西洋近現代哲学特別演習 A	2	2	3	演習		
		BA6050	西洋近現代哲学特別演習 B	2	2	3	演習		
		BA6060	西洋近現代哲学特別演習 C	2	2	4	演習		
	BA6070	西洋近現代哲学特別演習 D	2	2	4	演習			
インド哲学・仏教学	専門基礎科目	入門科目	BB0010	インド哲学・仏教学入門	2	2	1	講義	
		基礎科目	BB0020	サンスクリット語入門	2	2	2	演習	
	専門概説	概説・研究法	BB2000	インド哲学概説	2	2	2	講義	
			BB2010	仏教学概説	2	2	2	講義	
		基礎演習	BB4000	サンスクリット語基礎演習	2	2	2	演習	
			BB4010	インド哲学・仏教学基礎演習 A	2	2	2	演習	
			BB4020	インド哲学・仏教学基礎演習 B	2	2	2	演習	
			発展演習	BB5000	インド哲学・仏教学演習 A	2	2	3	演習
				BB5010	インド哲学・仏教学演習 B	2	2	3	演習
				BB5020	インド哲学・仏教学演習 C	2	2	4	演習
				BB5030	インド哲学・仏教学演習 D	2	2	4	演習
				BB5040	インド思想基礎文献演習 A	2	2	3	演習
				BB5050	インド思想基礎文献演習 B	2	2	3	演習
	BB5060	仏教思想基礎文献演習 A		2	2	3	演習		
	BB5070	仏教思想基礎文献演習 B	2	2	3	演習			
	BB5080	インド思想文献演習 A	2	2	3	演習			
	BB5090	インド思想文献演習 B	2	2	3	演習			
	BB5100	インド思想文献演習 C	2	2	4	演習			
	BB5110	インド思想文献演習 D	2	2	4	演習			
	BB5120	仏教思想文献演習 A	2	2	3	演習			
	BB5130	仏教思想文献演習 B	2	2	3	演習			
	BB5140	仏教思想文献演習 C	2	2	4	演習			
	BB5150	仏教思想文献演習 D	2	2	4	演習			
特別演習	BB6000	インド哲学・仏教学特別演習 A	2	2	3	演習			
	BB6010	インド哲学・仏教学特別演習 B	2	2	3	演習			
	BB6020	インド哲学・仏教学特別演習 C	2	2	4	演習			
	BB6030	インド哲学・仏教学特別演習 D	2	2	4	演習			

専門教育科目

哲学・思想文化学プログラム

分野	区分		科目コード	授業科目	学期単位	開設単位	配当年次	授業形態
倫理学	専門基礎科目		入門科目	BC0010 倫理学入門	2	2	1	講義
			基礎科目	BC0020 哲学史基礎演習(ドイツ語)	2	2	2	演習
	専門科目	専門概説	概説・研究法	BC2000 生命倫理	2	2	2	講義
				BC2011 倫理思想史概説	2	2	2	講義
				BC2021 倫理思想史特講	2	2	2	講義
				BC2031 倫理学概論	2	2	2	講義
				BC2041 倫理学特講	2	2	2	講義
		専門演習	基礎演習	BC4020 倫理思想史基礎演習A	2	2	2	演習
				BC4030 倫理思想史基礎演習B	2	2	2	演習
				BC4040 倫理思想史基礎演習C	2	2	3	演習
				BC4050 倫理思想史基礎演習D	2	2	3	演習
			発展演習	BC5040 応用倫理学演習A	2	2	3	演習
				BC5050 応用倫理学演習B	2	2	3	演習
				BC5060 応用倫理学演習C	2	2	4	演習
				BC5070 応用倫理学演習D	2	2	4	演習
	特別演習	BC6000 倫理学特別演習A	2	2	3	演習		
		BC6010 倫理学特別演習B	2	2	3	演習		
		BC6020 倫理学特別演習C	2	2	4	演習		
		BC6030 倫理学特別演習D	2	2	4	演習		
	中国思想文化学	専門基礎科目		入門科目	BD0010 中国思想文化学入門	2	2	1
		基礎科目	BD0020 漢文基礎	2	2	2	演習	
専門科目		専門概説	概説・研究法	BD2000 中国思想史概説	2	2	2	講義
				BD2010 中国思想史概説	2	2	2	講義
				BD2030 中国学術思想史	2	2	3	講義
		専門演習	基礎演習	BD4000 原典読解法	2	2	2	演習
				BD4010 諸子学文献A	2	2	2	演習
				BD4020 諸子学文献B	2	2	2	演習
			発展演習	BD5000 中国古代中世思想文献演習A	2	2	3	演習
				BD5010 中国古代中世思想文献演習B	2	2	3	演習
				BD5020 中国古代中世思想文献演習C	2	2	4	演習
				BD5030 中国古代中世思想文献演習D	2	2	4	演習
				BD5080 中国近世思想文献演習A	2	2	3	演習
				BD5090 中国近世思想文献演習B	2	2	3	演習
				BD5100 中国近世思想文献演習C	2	2	4	演習
				BD5110 中国近世思想文献演習D	2	2	4	演習
				BD5120 中国哲学思想文献演習A	2	2	2	演習
				BD5130 中国哲学思想文献演習B	2	2	3	演習
				BD5140 中国哲学思想文献演習C	2	2	3	演習
				BD5150 中国哲学思想文献演習D	2	2	4	演習
特別演習	BD6000 中国思想文化学特別演習A	2	2	3	演習			
	BD6010 中国思想文化学特別演習B	2	2	3	演習			
	BD6020 中国思想文化学特別演習C	2	2	4	演習			
	BD6030 中国思想文化学特別演習D	2	2	4	演習			
共通	卒業論文科目		BX1100 卒業論文指導A	2	2	4	演習	
			BX1200 卒業論文指導B	2	2	4	演習	
			BX1500 卒業論文	8	8	4	演習	

## 到達目標評価項目と評価基準の表

## ○ 知識・理解

評価項目	非常に優れている(Best)	優れている(Modal)	基準に達している(Threshold)	備考 (適用科目名を記載) ※( )内は履修セマスタ
1) 哲学・思想文化学に関する基本的理解。	哲学と思想の歴史に関する知識を習得しており、自己の研究分野において活用することが可能である。	哲学と思想の歴史に関する基本的事項は習得しており、より発展的な理解が可能である。	哲学と思想の歴史に関する基本的事項について理解している。	西洋哲学入門(2) インド哲学・仏教学入門(2) 倫理学入門(2) 中国思想文化学入門(2)
2) 西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学または中国思想文化学に関する基礎的知識の習得。	当該の専門分野に関する基礎的知識を習得しており、研究において、それらを有効に発揮することが可能である。	当該の専門分野に関する基礎的知識を習得しており、研究においてそれらを有効に発揮できる可能性がある。	当該の専門分野に関する基礎的知識を習得している。	西洋古代哲学史(3) 西洋中世哲学史(3) 西洋近世哲学史(3) 哲学概論Ⅰ(3) 哲学概論Ⅱ(4) 西洋古代中世哲学研究(4) 西洋近現代哲学研究A(4) 西洋近現代哲学研究B(5) 論理学(3) 科学哲学・科学思想史(4) インド哲学概説(3) 仏教学概説(4) 倫理思想史概説(3) 倫理思想史特講(4) 倫理学概論(3) 倫理学特講(4) 生命倫理(3) 中国思想史概説(3) 中国文化学概説(4) 中国学術思想史(5) 諸子学文献A(3) 諸子学文献B(4)

## ○ 知的能力・技能

評価項目	非常に優れている(Best)	優れている(Modal)	基準に達している(Threshold)	備考 (適用科目名を記載) ※( )内は履修セマスタ
1) 哲学・思想文化学に関する原典の読解力を習得。	語句の意味、用法及び文の構造、表現上の特色を理解し、対象文献の内容を構成や展開に即して的確にとらえることができる。	語句の意味、用法及び文の構造を理解し、対象文献の内容を構成や展開に即してとらえることができる。	語句の意味、用法及び文の構造を理解できる。	哲学史基礎演習(ギリシア語)(3) 哲学史基礎演習(ラテン語)(3) 哲学史基礎演習(ドイツ語)(3) 古代哲学史基礎演習(4) 中世哲学史基礎演習(4) 近世哲学史基礎演習(3) サンスクリット語入門(3) サンスクリット語基礎演習(4) インド哲学・仏教学基礎演習A(3) インド哲学・仏教学基礎演習B(4) インド哲学・仏教学演習A(5) インド哲学・仏教学演習B

				(6) インド哲学・仏教学演習C (7) インド哲学・仏教学演習D (8) インド思想基礎文献演習A(5) インド思想基礎文献演習B (6) 仏教思想基礎文献演習A (5) 仏教思想基礎文献演習B (6) 倫理思想史基礎演習A (3) 倫理思想史基礎演習B (4) 倫理思想史基礎演習C (5) 倫理思想史基礎演習D (6) 漢文基礎(3) 原典読解法(4) 中国古代中世思想文献演習A(5) 中国古代中世思想文献演習B(6) 中国古代中世思想文献演習C(7) 中国古代中世思想文献演習D(8) 中国近世思想文献演習A (5) 中国近世思想文献演習B (6) 中国近世思想文献演習C (7) 中国近世思想文献演習D (8) 中国哲学思想文献演習A (4) 中国哲学思想文献演習B (5) 中国哲学思想文献演習C (6) 中国哲学思想文献演習D (7)
2) 哲学・思想文化学に関する資料調査能力を習得。	辞書や索引などの資料調査の基本的用具を活用することができ、必要に応じて原典を調査する能力を習得している。	辞書や索引などの資料調査の基本的用具を活用することができ、原典を調査する能力を習得している。	辞書や索引などの資料調査の基本的用具を活用することができる。	西洋古代中世哲学演習 I (5) 西洋古代中世哲学演習 II (6) 西洋近世哲学演習A(4) 西洋近世哲学演習B(5) 西洋近世哲学演習C(6) 西洋近世哲学演習D(7) 西洋近現代哲学演習A (4) 西洋近現代哲学演習B (5) インド哲学・仏教学演習A (5) インド哲学・仏教学演習B (6) インド哲学・仏教学演習C (7) インド哲学・仏教学演習D (8)



				倫理思想史基礎演習A(3) 倫理思想史基礎演習B(4) 倫理思想史基礎演習C(5) 倫理思想史基礎演習D(6) 応用倫理学演習A(5) 応用倫理学演習B(6) 応用倫理学演習C(7) 応用倫理学演習D(8) 原典読解法(4) 諸子学文献A(3) 諸子学文献B(4) 中国古代中世思想文献演習A(5) 中国古代中世思想文献演習B(6) 中国古代中世思想文献演習C(7) 中国古代中世思想文献演習D(8) 中国近世思想文献演習A(5) 中国近世思想文献演習B(6) 中国近世思想文献演習C(7) 中国近世思想文献演習D(8) 中国哲学思想文献演習A(4) 中国哲学思想文献演習B(5) 中国哲学思想文献演習C(6) 中国哲学思想文献演習D(7)
3) 哲学・思想文化学に関する研究の方法を習得。	従来の研究方法を十分に習得しており、自己の研究に応用し、独自の研究を展開できる可能性がある。	従来の研究方法を習得しており、自己の研究に応用することが可能である。	従来の研究方法を習得している。	西洋哲学特別演習A(5) 西洋哲学特別演習B(6) 西洋近現代哲学特別演習A(5) 西洋近現代哲学特別演習B(6) インド哲学・仏教学特別演習A(5) インド哲学・仏教学特別演習B(6) 応用倫理学演習A(5) 応用倫理学演習B(6) 応用倫理学演習C(7) 応用倫理学演習D(8) 倫理学特別演習A(5) 倫理学特別演習B(6) 倫理学特別演習C(7) 倫理学特別演習D(8) 中国思想文化学特別演習A(5) 中国思想文化学特別演習B(6) 中国思想文化学特別演習C(7) 中国思想文化学特別演習D(8)

4) 西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学または中国思想文化学に関する諸問題を論理的に分析し考察する能力を習得。	当該の専門分野の諸問題を論理的に分析し考察する能力を習得しており、自己の研究に活用することができる。	当該の専門分野の諸問題を論理的に分析し考察する能力を習得しており、自己の研究に活用できる可能性がある。	当該の専門分野の諸問題を論理的に分析し考察する能力を習得している。	西洋哲学特別演習C(7) 西洋哲学特別演習D(8) 西洋近現代哲学特別演習C(7) 西洋近現代哲学特別演習D(8) インド思想文献演習A(5) インド思想文献演習B(6) インド思想文献演習C(7) インド思想文献演習D(8) 仏教思想文献演習A(5) 仏教思想文献演習B(6) 仏教思想文献演習C(7) 仏教思想文献演習D(8) インド哲学・仏教学特別演習C(7) インド哲学・仏教学特別演習D(8) 倫理学特別演習A(5) 倫理学特別演習B(6) 倫理学特別演習C(7) 倫理学特別演習D(8) 中国思想文化学特別演習A(5) 中国思想文化学特別演習B(6) 中国思想文化学特別演習C(7) 中国思想文化学特別演習D(8)
--	--	---	-----------------------------------	--

○ 実践的能力・技能

評価項目	非常に優れている (Best)	優れている (Modal)	基準に達している (Threshold)	備考 (適用科目名を記載) ※( )内は履修セマスタ
1) 哲学・思想文化学各分野に関する各言語の理解と表現力および日本語表現力を習得。	当該の専門分野に関する各言語の理解と表現力および日本語表現力が豊かであり、自己の見解を説得力ある文章によって表現することができる。	当該の専門分野に関する各言語の理解と表現力および日本語表現力を身につけており、自己の見解を表現することができる。	当該の専門分野に関する各言語の理解と表現力および日本語表現力を身につけている。	卒業論文指導A(7) 卒業論文指導B(8)
2) 論理的思考力を身につけて、自分の意見を発表できる論文作成能力・プレゼンテーション能力を習得。	論理的思考力を身につけており、自分の意見を論理的に展開できるすぐれた論文作成能力・プレゼンテーション能力を習得している。	論理的思考力を身につけており、自分の意見を論理的に展開できる論文作成能力・プレゼンテーション能力を習得している。	論理的思考力を身につけており、自分の意見を発表することができる。	卒業論文指導A(7) 卒業論文指導B(8)
3) 従来の研究成果を踏まえて、独創性を発揮できる力を習得。	当該の専門分野における従来の研究成果を幅広く習得しており、論文作成において独創性を発揮できる力を身につけている。	当該の専門分野における従来の研究成果を習得しており、論文作成において独創性を発揮できる可能性がある。	当該の専門分野における従来の研究成果を習得しており、自己の論文作成に生かすことができる。	卒業論文指導A(7) 卒業論文指導B(8)

○ 総合的能力・技能

評価項目	非常に優れている (Best)	優れている (Modal)	基準に達している (Threshold)	備考 (適用科目名を記載) ※( )内は履修セマスタ

1) 哲学・思想文化の特質、人間存在の諸問題を複眼的に考察する力を習得。	4年間の学習を通して総合的知識・能力を習得しており、哲学・思想文化の特質、人間存在の諸問題を複眼的に考察する力を備えている。	4年間の学習を通して総合的知識・能力を習得しており、哲学・思想文化の特質、人間存在の諸問題を考察する力を備えている。	4年間の学習を通して総合的知識・能力を習得しており、哲学・思想文化の特質、人間存在の諸問題を考察することは可能である。	卒業論文(8)
2) 自ら課題を設定し、問題を解決する能力を習得。	4年間の学習を通して、自ら課題を設定し、問題を解決する能力を習得しており、すぐれた卒業論文を作成することができている。	4年間の学習を通して、自ら課題を設定し、問題を解決する能力を身につけており、一定の水準に達する卒業論文を作成することができている。	4年間の学習を通して、自ら課題を設定し、問題を解決する能力を身につけている。	卒業論文(8)

## 担 当 教 員 リ ス ト

担当教員名	担 当 授 業 科 目 等	備 考
後藤弘志	担当授業科目: 哲学概論 I 哲学概論 II 西洋近現代哲学研究 A 西洋近現代哲学研究 B 西洋近世哲学演習 A 西洋近世哲学演習 B 西洋近世哲学演習 C 西洋近世哲学演習 D 西洋近現代哲学特別演習 A 西洋近現代哲学特別演習 B 西洋近現代哲学特別演習 C 西洋近現代哲学特別演習 D 卒業論文指導 A 卒業論文指導 B 卒業論文 研究室の場所: 文学部A665 E-mail アドレス: goto1201@hiroshima-u.ac.jp	
赤井清晃	担当授業科目: 西洋哲学入門 哲学史基礎演習(ギリシア語) 哲学史基礎演習(ラテン語) 西洋古代哲学史 西洋中世哲学史 科学哲学・科学思想史 西洋古代中世哲学研究 古代哲学史基礎演習 中世哲学史基礎演習 西洋古代中世哲学演習 I 西洋古代中世哲学演習 II 西洋哲学特別演習 A 西洋哲学特別演習 B 西洋哲学特別演習 C 西洋哲学特別演習 D 卒業論文指導 A 卒業論文指導 B 卒業論文 研究室の場所: 文学部A663 E-mail アドレス: akyah59@hiroshima-u.ac.jp	
裕 智樹	担当授業科目: 教養ゼミ 西洋近世哲学史	

	近世哲学基礎演習 西洋近現代哲学演習A 西洋近現代哲学演習B 西洋近現代哲学特別演習 A 西洋近現代哲学特別演習 B 西洋近現代哲学特別演習 C 西洋近現代哲学特別演習 D 卒業論文指導A 卒業論文指導B 卒業論文 研究室の場所:文学部A666 E-mail アドレス:tomoki09@hiroshima-u.ac.jp	
--	--	--

小川英世	担当授業科目:教養ゼミ サンスクリット語入門 インド哲学概説 仏教学概説 サンスクリット語基礎演習 インド思想基礎文献演習A インド思想基礎文献演習B インド思想文献演習A インド思想文献演習B インド思想文献演習C インド思想文献演習D 仏教思想文献演習A 仏教思想文献演習B 仏教思想文献演習C 仏教思想文献演習D インド哲学・仏教学特別演習A インド哲学・仏教学特別演習B インド哲学・仏教学特別演習C インド哲学・仏教学特別演習D 卒業論文指導A 卒業論文指導B 卒業論文 研究室の場所:文学部A662 E-mail アドレス:hogawa@hiroshima-u.ac.jp	
------	---	--

根本裕史	担当授業科目:インド哲学・仏教学入門 インド哲学・仏教学基礎演習A インド哲学・仏教学基礎演習B インド哲学・仏教学演習A インド哲学・仏教学演習B インド哲学・仏教学演習C	
------	--	--

	<p>インド哲学・仏教学演習D          仏教思想基礎文献演習 A          仏教思想基礎文献演習 B          インド哲学・仏教学特別演習A          インド哲学・仏教学特別演習B          インド哲学・仏教学特別演習C          インド哲学・仏教学特別演習D          卒業論文指導A          卒業論文指導B          卒業論文</p> <p>研究室の場所:文学部A661          E-mail アドレス:nemoto@hiroshima-u.ac.jp</p>	
--	---	--

越智貢	<p>担当授業科目:倫理学概論          倫理学特講          応用倫理学演習A          応用倫理学演習B          応用倫理学演習C          応用倫理学演習D          卒業論文指導A          卒業論文指導B          卒業論文</p> <p>研究室の場所:文学部A652          E-mail アドレス:mochi@hiroshima-u.ac.jp</p>	
-----	---	--

松井富美男	<p>担当授業科目: 教養ゼミ          生命倫理          倫理思想史特講          倫理学特別演習A          倫理学特別演習B          倫理学特別演習C          倫理学特別演習D          卒業論文指導A          卒業論文指導B          卒業論文</p> <p>研究室の場所:文学部A651          E-mail アドレス:fmatsui@hiroshima-u.ac.jp</p>	
-------	---	--

衛藤吉則	<p>担当授業科目:倫理学入門          哲学史基礎演習(ドイツ語)          倫理思想史概説          倫理思想史基礎演習A          倫理思想史基礎演習B          倫理思想史基礎演習 C          倫理思想史基礎演習 D</p>	
------	---	--

	卒業論文指導A 卒業論文指導B 卒業論文 研究室の場所: A654 E-mail アドレス: yeto@hiroshima-u.ac.jp	
--	---	--

有馬卓也	担当授業科目: 中国思想文化学入門 漢文基礎 原典読解法 中国古代中世思想文献演習A 中国古代中世思想文献演習B 中国古代中世思想文献演習C 中国古代中世思想文献演習D 中国思想文化学特別演習A 中国思想文化学特別演習B 中国思想文化学特別演習C 中国思想文化学特別演習D 卒業論文指導A 卒業論文指導B 卒業論文 研究室の場所: 文学部A657 E-mail アドレス: tarima@hiroshima-u.ac.jp	
------	--	--

市來津由彦	担当授業科目: 中国思想文化学入門 中国文化学概説 諸子学文献 B 中国近世思想文献演習A 中国近世思想文献演習B 中国近世思想文献演習C 中国近世思想文献演習D 中国思想文化学特別演習A 中国思想文化学特別演習B 中国思想文化学特別演習C 中国思想文化学特別演習D 卒業論文指導A 卒業論文指導B 卒業論文 研究室の場所: 文学部A660 E-mail アドレス: tichiki@hiroshima-u.ac.jp	
-------	--	--

末永高康	担当授業科目: 教養ゼミ 中国思想史概説 諸子学文献 A 中国哲学思想文献演習A 中国哲学思想文献演習B	
------	--	--

	<p>中国哲学思想文献演習C 中国哲学思想文献演習D 中国思想文化学特別演習A 中国思想文化学特別演習B 中国思想文化学特別演習C 中国思想文化学特別演習D 卒業論文指導A 卒業論文指導B 卒業論文</p> <p>研究室の場所:文学部A657 E-mail アドレス:moyong@hiroshima-u.ac.jp</p>	
--	--	--